

県境不法投棄現場原状回復対策推進協議会設置要領

(趣旨)

第1 青森県と岩手県との県境において発生した廃棄物不法投棄事案について、原状回復対策等を、効果的かつ早急に実施するために必要な評価・検討等を行うため、「県境不法投棄現場原状回復対策推進協議会（以下「協議会」という。）」を設置する。

(所掌)

第2 協議会の所掌事項は次のとおりとする。

- (1) 原状回復対策の工法に関する評価・検討
- (2) 不法投棄廃棄物の処理方法に関する評価・検討
- (3) 原状回復対策の実施に係る安全性の評価・検討及び管理
- (4) 環境モニタリングに関する評価・検討
- (5) 跡地利用及び環境再生の検討
- (6) その他必要な事項

(組織)

第3 協議会は、委員をもって組織する。

2 委員は、知事が委嘱する。

(会長及び副会長)

第4 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員の互選による。

3 副会長は、会長が選任する。

4 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

(会議)

第6 協議会の会議は、必要に応じて会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

(意見の聴取)

第7 会長は、第2に定める所掌事項に関し、必要に応じて利害関係者及び学識経験者等の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(部会の設置)

第7の2 会長は、県境不法投棄現場の環境再生に関する提案募集方法の検討及び提案の審査を行うため、県境不法投棄現場原状回復対策推進協議会環境再生提案・審査部会（以下「部会」という。）を設置する。

(庶務)

第8 協議会及び部会の庶務は、県境再生対策室において処理する。

(その他)

第9 この要領に定めるもののほか、協議会及び部会の運営に関して必要な事項は別に定める。

附 則

この要領は平成15年7月31日から施行する。

改 正 平成15年9月 1日

改 正 平成16年3月26日

改 正 平成17年2月14日

改 正 平成20年5月24日

県境不法投棄現場原状回復対策推進協議会委員名簿

(氏名 五十音順)

任期:平成19年7月31日から平成21年7月30日

氏 名	所 属 等
石 井 一 英	北海道大学助教 (大学院工学研究科)
井 上 隆一郎	青森公立大学教授 (経営経済学部)
大久保 勉	八戸圏域水道企業団副企業長
小 田 光 子	公募委員 (弘前市在住)
小 原 豊 明	二戸市長
工 藤 勝 雄	二戸自然と環境を守る会副会長
栗 生 宗 吉	公募委員 (南部町在住)
佐々木 俊 介	青森公立大学教授 (経営経済学部)
澤 口 博 二	田子の声100人委員会事務局長
須 藤 淳 子	公募委員 (青森市在住)
西 垣 誠	岡山大学教授 (大学院環境学研究科)
福 士 憲 一	八戸工業大学教授 (工学部環境建設工学科)
古 市 徹	北海道大学教授 (大学院工学研究科)
松 橋 良 則	田子町長
柳 田 慶 一	田子町農業協同組合理事

委員15名

(氏名 五十音順)

任期:平成21年7月31日から平成23年7月30日

氏 名	所 属 等
石 井 一 英	北海道大学助教 (大学院工学研究科)
井 上 隆一郎	青森公立大学教授 (経営経済学部)
宇 藤 安貴子	田子町推薦委員 (八戸農業協同組合女性部田子支部長)
大久保 勉	八戸圏域水道企業団副企業長
小 田 光 子	公募委員 (弘前市在住)
小 原 豊 明 (平成22年1月28日まで) 小保内 敏 幸 (平成22年1月29日から)	二戸市長
佐々木 俊 介	青森公立大学教授 (経営経済学部)
澤 口 博 二	田子町推薦委員 (田子の声100人委員会事務局長)
西 垣 誠	岡山大学教授 (大学院環境学研究科)
福 士 憲 一	八戸工業大学教授 (工学部土木建築工学科)
藤 川 あきつ	公募委員 (青森市在住)
古 市 徹	北海道大学教授 (大学院工学研究科)
松 橋 良 則	田子町長
溝 江 康 徳	公募委員 (八戸市在住)

委員14名